



# オンライン研修会のご案内

YouTube上での動画による講義（ビデオオンデマンド形式）

令和3年度 札幌市医療的ケア児等支援者養成研修企画運営業務

## 医療的ケア児等 支援者養成研修会



医療の進歩に伴って、日常的に医療を必要としながら在宅で生活をする子どもたち（医療的ケア児等）は札幌市内でも増えつつあります。そうした皆さんの地域生活には、医療のみならず、成長発達に添った福祉、保育、療育、教育、社会参加その他領域の重層的・継続的な支援が必要とされます。

今年度もICFの概念を基軸として、当事者および家族そして関連分野の専門職としての視点から、支援の在り方を学ぶ研修会を企画いたしました。

### オンライン講座（全31コマ、830分）

期間中にYouTubeに限定公開する講義ビデオを視聴していただきます。すべての講義の視聴を修了され、下記のオンライン情報交換セッションにご参加いただいた方に「修了証」を発行いたします（各講義への参加の有無は、小テストで確認させていただきます）。

各講座の詳細は裏面をご覧ください。なお、通常2日間の講義形式で実施するところ、このたびはオンライン研修で国の示すカリキュラムに沿った内容を実施する必要性から裏面の通りの講義ビデオを視聴していただくこととなります。

### オンライン情報交換セッション

受講生の皆さん同士がzoomで集い、テーマをもとにディスカッションなどを行いながらネットワークづくりに活用していただきます。

- ① 12月16日（木）19:00～20:00
- ② 12月20日（月）16:00～17:00
- ③ 1月14日（金）19:00～20:00
- ④ 1月22日（土）13:00～14:00

※ 上記いずれか都合のよい日程を申し込み時にご選択ください。

参加  
無料

定員 **100**名

開講期間

**12月1日(水)**  
～**1月31日(月)**

申込締切 **11/19（金）**

参加方法

#### STEP1

下記QRコード、またはURLからお申し込みください。

#### STEP2

申し込み後、受講用URLをメールでご連絡します。テキストは郵送でお送りします。

#### STEP3

開講期間中に各講義の受講用URLにアクセスし、受講してください。

#### STEP4

情報交換セッションにご参加の際はあらかじめzoom（Web会議ツール）のインストールが必要です（後日、参加用URLをご参加の皆さんに配信します）。

お申込み

#### ● スマホ・タブレットの場合

右記QRコードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取ってください。申し込みフォームが開きます。

#### ● パソコンの場合

下記より申し込めます。  
<https://forms.gle/EbttcQzj82bfRehn7>



#### お問い合わせ

研修会事務局 医療法人稲生会  
☎ 011-685-2799 FAX 011-685-2798  
toseikai@kjnet.onmicrosoft.com

## ◇ 研修会概要

- **目的：**医療的ケア児等の支援に関する専門研修を実施することで、札幌市内の医療的ケア児等の現状についての理解を促すとともに、医療的知識を含め、適切な支援の方法を伝えることにより、医療的ケア児等を支援可能な者を養成することを目的とします。
- **対象：**札幌市内で医療的ケア児等に関わる支援業務を行っている（又は行うことを検討している）方々を対象とします。過去の受講歴は問いません。
- **受講方法：**講義開催期間中（2021年12月3日～2022年1月31日）にYouTubeに限定公開する講義ビデオを視聴していただきます。
- **小テストについて：**各講義視聴後にはGoogle Formsによる小テストを受けていただきます。
- **情報交換セッションの参加方法：**zoom（Webオンライン会議システム）で開催します。開催日のいずれかご都合のよい日を選択してください。参加を希望される方には追って参加用URLをお送りします。必須ではありませんが、修了証の発行には情報交換セッションのご参加が必要となります。
- **修了証について：**すべての講義（Advance編を除く）の視聴を修了されて小テストの回答を完了され、かつオンライン情報交換セッションにご参加いただいた方に「修了証」を発行いたします。

	内容	時間 (分)	講師氏名	職種/所属
1	国・道内の医ケア児等への支援体制整備の現状・課題 札幌市の医療体制（二次医療圏域・医療機関同士の連携）の現状・課題	30	土島 智幸	医師/稲生会
2	医ケア児等コーディネーターに期待する行動及び役割 医ケア児等の成長と発達を見通した支援体制整備の視点	30	高波 千代子	社会福祉士/稲生会
3	子どもの状態像	30	鈴木 大真	医師/稲生会
4	みんなで作る医療安全 実践編：緊急時対応（動画：気管カニューレ、胃瘻事故抜去など）	30	鈴木 大真 金子 直美	医師/稲生会 PT/稲生会
5	Advance編：感染対策（新型コロナウイルスを中心に）	20	工藤 裕子	歯科衛生士/稲生会
6	多職種連携の基本的知識 事例) NICUからの在宅移行：病院編	15	守谷 予史季 氏	看護師/北海道大学院
7	多職種連携の基本的知識 事例) NICUからの在宅移行：在宅編	15	磯邊 朋美	看護師/稲生会
8	訪問看護の仕組み・日常生活における医療的ケア	30	高橋 美由紀 中島 千鶴子	看護師/稲生会
9	想定される職種・法律上できること・できないこと	30	土島 智幸	医師/稲生会
10	ICFを活用した支援の意義と必要性 ICF身体機能と構造①粗大、微細運動と感覚の関係性 実践編：実際のケアの様子（動画：抱っこ、移乗、入浴など）	60	喜田 志奈	PT/稲生会
11	ICF身体機能と構造②子どもの育ちと定型発達・よく出会う医ケア児等の発達の特徴	30	福土 善信 氏	PT/北海道立子ども総合医療・療育センター
12	ICF身体機能と構造③口腔内を整える	45	高井 理人 工藤 裕子	歯科医師/稲生会 歯科衛生士/稲生会
13	Advance編：ICF身体機能と構造④医療的ケア児の栄養と食事	15	久保 香苗	管理栄養士/稲生会
14	Advance編：ICF身体機能と構造⑤呼吸ケア	15	打田 小春 宮崎 健司	PT/稲生会 OT/稲生会
15	ICF活動①遊びと生活体験・発達支援/医療的ケア児等の遊び・保育 どんぐりの森における実践	30	坂井 恵 舟田 はるか	公認心理師/稲生会 OT/稲生会
16	ICF活動②コミュニケーション	30	佐藤 美由紀 氏	NPO法人 iCareほっかいどう
17	ICF参加①医療的ケア児の就学について	15	山田 浩富 氏	札幌市教育委員会学校教育部学びの支援担当課
18	ICF参加②普通学校における学校看護師の対応について	15	石川 一美 氏 千葉 玲子 氏 他	看護師/ナースパワー札幌
19	ICF参加③事例)医療的ケアを行いながらの地域参加(社会参加)を支援する ：幼稚園の入園編	15	学校法人北陽学園 認定こども園 札幌北幼稚園	
20	ICF参加④事例)医療的ケアを行いながらの地域参加(社会参加)を支援する ：障害者の生涯学習編	30	松井 翔惟	学びのディレクター/稲生会
21	ICF身体機能・構造・活動・参加を支える制度資源(環境の整備)①短期入所	30	須藤 章 氏	社会福祉法人楡の会こどもクリニック 院長
22	ICF身体機能・構造・活動・参加を支える制度資源(環境の整備)②児童発達支援	30	山田 恵 氏	重症児デイサービスリノキッズ
23	ICF身体機能・構造・活動・参加を支える制度資源(環境の整備)③就労支援(本人、 家族)④相談支援	40	目黒 祐美子 高波 千代子	社会福祉士/医療法人稲生会
24	ICF身体機能・構造・活動・参加を支える制度資源(環境の整備)⑤家族支援・虐待 及びようたいきょう(児相)・権利擁護	20	伊西 夏恵	社会福祉士・OT/医療法人稲生会
25	ICF身体機能・構造・活動・参加を支える制度資源(環境の整備)⑥災害支援体制の 基本的な考え方	30	川村 健太郎	医師/稲生会
26	医療的ケア児の家族の思いの理解：乳幼児期	30	鈴木 啓吾 氏	ご家族
27	障害を持つ子どもの親となることを支援する視点 事例)暮らしの再構築を中心とした家族支援	15	鈴木 啓吾 氏 磯邊 朋美	ご家族 看護師/稲生会
28	子どもとの死別に伴うグリーフについて	30	岩野 みのり 氏 目黒 祐美子	ご家族 社会福祉士/稲生会
29	医療的ケア児の家族の思いの理解：学齢期以上	30	山本 知穂 氏	ご家族
30	成人期における支援	15	梅村 圭 氏	合同会社道草舎
31	医療的ケアを必要とする当事者の経験と思い：成人期	30	松原 健 氏	当事者
※	情報交換セッション	60		
	<b>合計時間数</b>	<b>890</b>		